

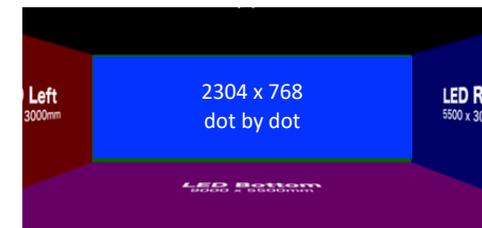
disguise File Format

映像システム「ディスガイズ」にデータを取り込んで再生する場合の、納品データファイルフォーマットです。各種高画質データが再生可能。
 本番時はディスガイズのオペレーターが素材を再生します。
 会場技術スタッフがプログラムして、レクチャー後オペレートしていただくことも可能です。

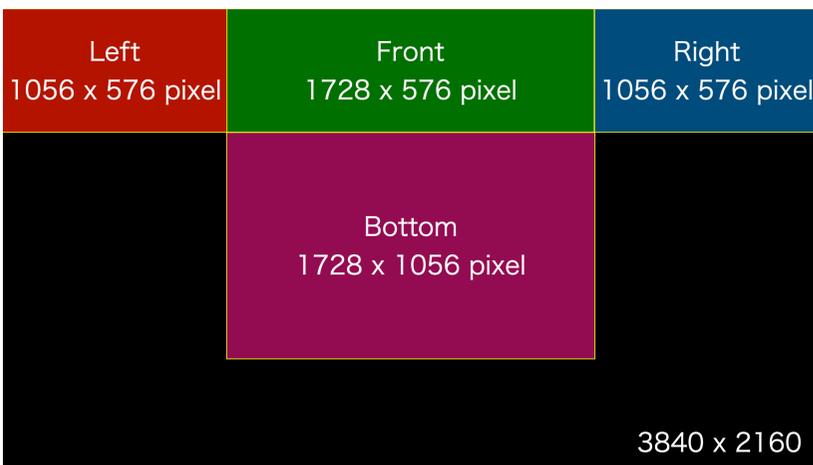
[Movie]	[Picture]
Format mov	Format jpg・png
Size Max 3840x2160 (UHD) or 各動画素材サイズ	Size 3840x2160 (UHD) or 各動画素材サイズ
Video Codec HAP (HAP1)	Max 4000x4000 pixel
Flame Rate 59.94 Progressive	
Audio 16bit 44.1kHz stereo (HAP埋め込みで48kHzは再生不可 wavで別納品)	

- ・ファイル名は半角英数字のみです。(日本語不可) 【例】xxxxxxx_01.mov
- ・ファイル数やデータ容量の上限は3分のVTRが10本程度(5分ならば6本)
 全体容量100GBまでを目安とさせていただきます。それを超える場合は別途作業費が発生することがあります。
- ・多量の静止画・短い動画の納品は、プログラム作業と本番オペレーションの負荷が高いため要相談とさせていただきます。
- ・データの納品期限は再生テストデータがイベント7日前、本番データが3日前とさせていただきます。
 本番直前の納品ではデータ流し込み作業が間に合わない可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

フロント1面の使用例
2304x768の動画

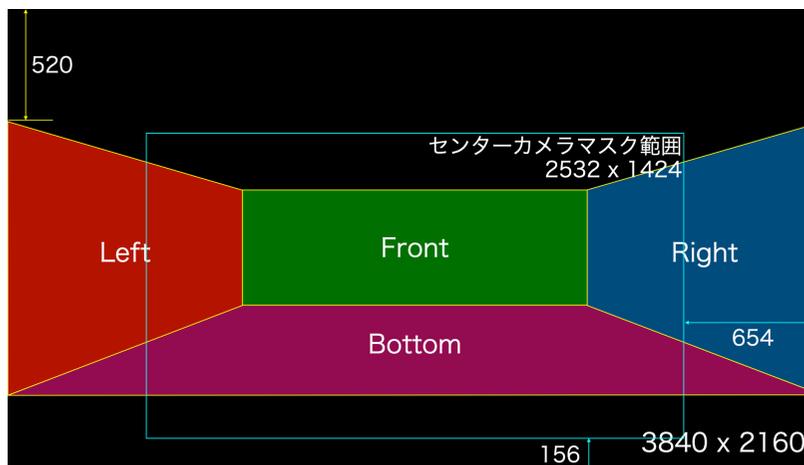


フィード
展開図型の面付

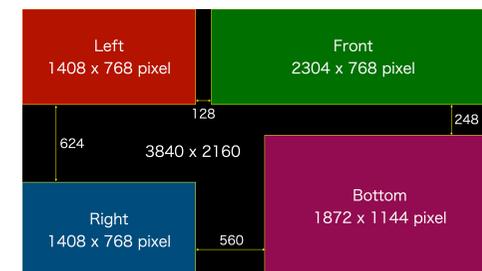


LED全面使用
3840 x 2160 (UHD)

パース
遠近法型の面付



最高画質Dot By Dotの面付

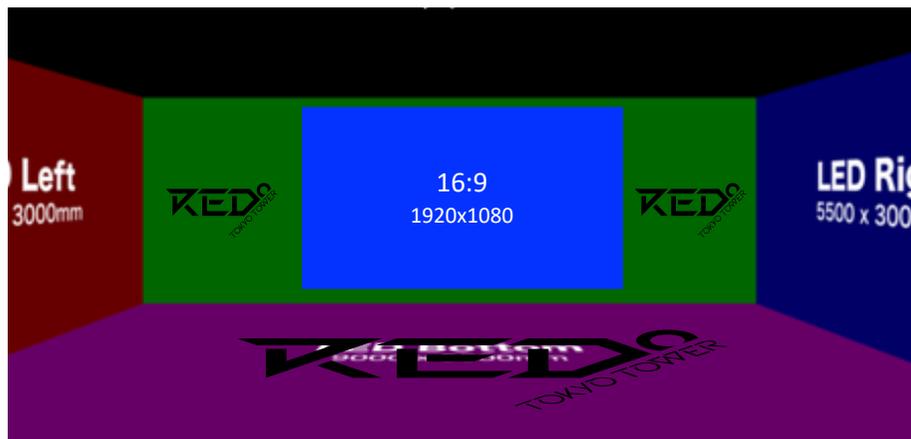


disguise Video Input Format

映像システム「ディスガイズ」にスイッチングアウト、パソコンやVJ等のライブソースを入力しLEDに投影する場合のフォーマットです。

- ・ 1920x1080 59.94プログレッシブのSDIで入力します。3840x2160 (4K)ソースはインプットできません。
 - ・ 会場常設HDMI to SDIのコンバータのご用意があります。
 - ・ 本番時のPC等再生機器、スイッチング機材やオペレータはお持ち込みいただきます。会場常設のスイッチャーを利用することも可能です。
 - ・ LEDに投影できるソース数は4回線までになります。
 - ・ ディスガイズに取り込んである静止画や動画と組み合わせて投影することもできます。
- 表示位置やサイズの変更も可能な自由度の高いレイヤー構造になっていますので、活用方法についてはご相談ください。
- ・ 各種映像のテンプレートがありますので会場テクニカルにお申し付けください。

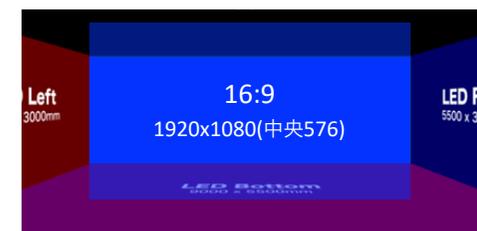
16:9+ロゴ静止画埋込の使用例



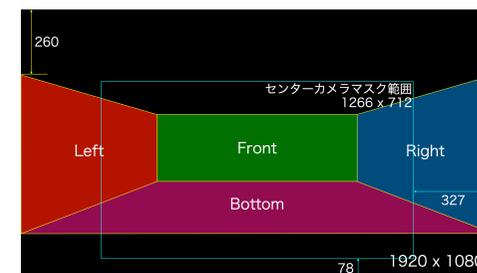
16:9 2面出しの使用例



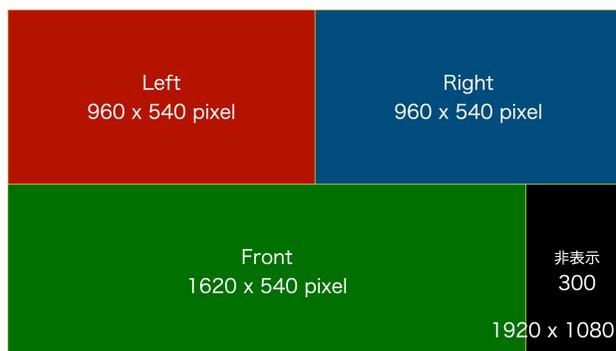
フロント全面16:9
レターボックスの使用例



パース/フィード
遠近法/展開図型の面付け、比較的画質低VJ向け



ウォール
壁面のみの面付け



ボトム
床面のみの面付け

